

ひみつの図書室 2024.10.4

日本が好きになる！歴史全授業は
どうやってできたのか？

授業づくりJapanさいたま 斎藤武夫

今日は二つのことを話します

- 1 「昭和の戦争の授業」はどうやってできたか？
…「満州事変」を例に…
- 2 「天皇の国」の歴史をどう授業してきたか？

最初の目標は

「近現代史とくに昭和の戦争の授業改革」

でした

まず「昭和の戦争」の授業を変えたい

- ◆満州事変
- ◆シナ事変（日中戦争）
- ◆大東亜戦争（太平洋戦争）
- ◆米軍による占領時代（国際法上の戦争の継続）

戦後80年の歴史教育

「日本が侵略した」
「日本軍は残虐だ」

（東京裁判の判決）

その結果

「日本は悪い国だね」
「私たちの先祖は
ひどい人たちだね」

（教育原理的な間違い）

子供達が日本が好きになり
先人に共感できる
歴史学習にする

相手のある歴史は
日本の立場から
どう見えていたのかを
ストーリーにする

満州事変の授業を例に（1）日本が悪い

教科書の満州事変

- ①関東軍（2万）が戦争を始めて中国軍に勝ち 満州国を建国した
（実際は軍閥張学良軍24万）
- ②政府は止めようとしたが 止められず(国民の支持) 満州国を承認した
（犬養首相暗殺）
- ③国際連盟は満州国を認めなかったなので、日本は連盟を脱退した

日本が戦争を始めたので（なぜかはわからないが）

この戦争は日本の侵略戦争だ

満州事変の授業を例に (2) 教えられていないこと

関東軍はなぜ戦争を始めたのか？

◆ 日本人20万人の生命財産が脅かされていた

満州を支配していた軍閥・張学良の反日政策・反日教育
日本人・朝鮮人に対する迫害やテロ 子供に対する暴行
などが繰り返され、死者も出ていた。

当時の日本に
とって
満州問題とは
これだった

◆ 政府は協調外交

日本政府は中国政府に「お願い」や「抗議」をして、関東軍に武力行使を禁じた
中国政府は各地の軍閥を統制できないので、協調外交では問題は解決しなかった
国民は政府を「軟弱外交」と批判した

(その他の動機)

- ・ 共産主義ソ連に対する安全保障策として満州をおさえたい
- ・ 人口増による農地不足を満州への移民で解消したい

満州事変の授業を例に（3） 衝突している考え方

国際連盟の批判

- ①パリ不戦条約が禁じている「侵略戦争」にあたる
- ②九か国条約が禁じている中国の「領土変更」にあたる

日本の主張

- ①反日暴動やテロ行為に対して国民の生命財産を守る自衛の行動である。パリ不戦条約は自衛戦争は禁止していない
- ②満州は中国の領土ではなく満州民族の土地である。満州国は満州人の独立運動の結果であり皇帝溥儀を君主とする満州民族の国家である

リットン調査団

- ①満州の日本の権益は正当である。中国政府・軍閥が反日行動を取り締まらないどころかやらせている事実は条約違反の違法行為である
- ②満州国は認めない。満州における中国の主権を認めよ。

満州事変の授業を例に（４）授業ができる

①違法な反日行動

満州の日本人が迫害され
死者も出ている
張学良軍は反日の確信犯
で条約違反を犯している

②協調外交

幣原喜重郎外相は協
調外交一辺倒であり
政府はもう1年以上
日本人居留民を守れ
ていない

③国民の怒り

メディアや世
論は「日本人
を守れ！」と
怒り昭和6年に
沸騰した

④政策選択問題

あなたは満州の日本人を守る
関東軍のリーダーです
どうしますか？

- A 軍を動かして国民を守る
- B 協調外交に従い見守る

⑤歴史の実際

柳条湖事件・戦闘
満州国建国
国民は大賛成

⑥意見の対立

国際連盟の批判
日本側の反論
調査団の見解

⑦事変の結果

国際連盟脱退
近代国家満州帝国
の繁栄

⑧授業感想文

リーダーの決断や満州
事変・満州国について
自分の考えを書く

満州事変の授業を例に（５） 必要な既習事項

明治維新・・・人種差別的な世界秩序に巻き込まれて「独立」をめざす

明治時代・・・立憲制度の確立で文明国家日本を達成

日清戦争の勝利と三国干渉（満州をロシアが奪う）

日露戦争の勝利して世界列強の一員となる（目標達成）

満州の利権（遼東半島と満州鉄道）20万人と関東軍

韓国併合

大正時代・・・第一次世界大戦で五大国になる・国際連盟の成立

満州事変の授業で与える情報だけではわからないことがある
満州事変の授業のためにそこに至る授業をチェックし
必要があれば修正する

授業をシミュレーションする （教師に求められる見識）

国際法・・・テロなどによる自国民被害に対する自衛行動は合法である

国際連盟・・・国際社会の既存のルールと実態に合わない理想論が流行する

柳条湖事件は関東軍の自作自演

- ・・・国際法的に正当な自衛の軍事行動としてとらえる
- 24万の張学良軍に2万の関東軍が勝つための謀略作戦

日本の問題点 ・ 関東軍の行動は命令違反 ・ 官僚を統制できない政府
・ 軍の組織内の下克上

子供は「先人がなぜそうしたのか」が理解できればいいが
教師はさらに多面的な見方ができていなければいけない

満州事変の授業づくりの意義

相手（敵）のある歴史授業をつくるの場合の原型になっている

白村江の戦い・元寇・キリスト教伝来と西洋との衝突

明治維新・日清日露戦争・第一次世界大戦・昭和の戦争・占領時代

- ① 先人はなぜそうしたのか？ どのような選択肢があったのか？
- ② 当時の世界の現実と常識、近代以後は戦時国際法などを検討する
- ③ 対立する考え方や意見を参照し、それを活用する
- ④ 授業は「子供が先人の選択を理解できる(共感できる)」ことを目標にストーリーをつくっていく
- ⑤ 政策選択問題はその事象のキーとなるリーダーの決断で設定する

「昭和の戦争」全体の授業づくりから

さらに新しい課題が出てくる

ここが片付けば終わりではなかった

例えば 終戦の御前会議

9日午後11時50分 御前会議「ポツダム宣言をどう受諾するか？」

- A 「**国体護持**」他4条件で受諾する（陸相・参謀総長・軍令部総長の3名）
- B 「**国体護持**」の1条件で受諾する（外相・海相・枢密院議長の3名）

ここまできても「天皇中心の国」だけはゆずれない
これが守れなければ戦争をやめることは出来ない
と
トップリーダー全員が考えている

子供達はこの考えを理解できるだろうか？

戦前の日本人には当たり前前のが
戦後はまったく理解できなくなった

日本が悪い戦争を始めたのは**天皇と神話と神道が原因**とされ
学校ではこれを教えないことになった

戦後の平和主義の下で 日本人は
「**戦争**」を情緒的にしか考えられなくなってしまった

「天皇の国日本」を学ぶ歴史授業が必要だ

日本人にとって天皇とは何だったか？
日本の歴史の中でどのような意味を持っていたのか？

日本国民の常識になるような最低限の歴史授業をつくる

戦後丸ごと失われてしまった**日本人の物語**を回復したい

ところで 戦前の皇国史観に戻ればよいのか？

シン・皇国史観の可能性を考える

戦前の歴史教育の優れている点

- ◆ 国家と歴史が「わがこと」になっている・・・先人への感謝と敬意
- ◆ 明治日本が「国民の物語＝天皇中心にまとまる国・日本」を創造しそれを国民が共有できていた(近現代の日本の元気の源)

昭和の皇国史観の問題点

- ◆ 天皇機関説を弾圧し**天皇主権説**を採用した
- ◆ 南北朝並立の歴史を否定して**北朝は天皇ではなかった**とした
- ◆ **歴史人物を忠臣と逆賊に分ける見方** (結果的に**幕府の全否定**になる)

天皇親政を理想として 明治の立憲君主制は否定的にとらえている
日本の国体は「権威」と「権力」に分離して完成した という認識がない

「天皇の国」をどう授業にしてきたか（古墳時代まで）

考古学から始める

●皇国史観では神話から歴史が始まる。

「天皇の国」は天照大神の神勅で決まり間違いなくずっと天皇の国だった

- ◆**天皇以前の縄文文化から始める。**「天皇の国」の始まりは古墳時代とする
- ◆「天皇の国日本」神勅の結果ではなく、先人の努力で受け継がれて今に至る

天皇の国の誕生まで

- ◆弥生時代：列島各地にたくさんの「クニ」が生まれ、その一つが神武天皇のクニだった(神話)
- ◆古墳時代：統一国「大和」が生まれた。「**天皇の国**」誕生

ここで建国神話を教える

- ◆仏教伝来を考えるためにここで教えた
- ◆記紀は8世紀の編集だが**内容は縄文～飛鳥時代だから**
「**天皇の国**」が誕生したこの時点で建国神話を教えるのが正解

「天皇の国」をどう授業にしてきたか（奈良時代まで）

聖徳太子の重要性

◆日本を理解する「原型」としての3大政策(文化・憲法・外交)

- ①外来文化の良いところに学び、伝統文化の良いところを守る（総合する）
- ②**天皇中心に一つにまとまる国をつくる**（話し合いと和を重視）
- ③世界を支配する国とも独立国として対等に交際する

この3つが日本の国づくりの基本方針になった

「天皇の国」の完成

- ◆唐の漢字文明を積極的に導入しながら、天皇の国という伝統を守り、東アジアの文明国になった

「天皇の国」をどう授業にしてきたか (近代)

明治維新の授業と天皇

- ◆ **天皇**は京都御所において歴代の将軍を任命してきた
- ◆ 15代将軍徳川慶喜は「政権」を**天皇**に返還した
- ◆ 王政復古で**明治天皇の国**になった(薩長下級武士の政権)
- ◆ **天皇がいなければ**内戦が続き植民地化の可能性もあった
- ◆ **天皇がいなければ**「武士階級の廃止」はできず「国民国家」の成立はなかった

古代からの天皇家をずっと守ってきたおかげで
明治維新も近代国家の建設もうまくいき 国家目標を達成した

このために「天皇の国」を守ってきたわけではないが そうなった

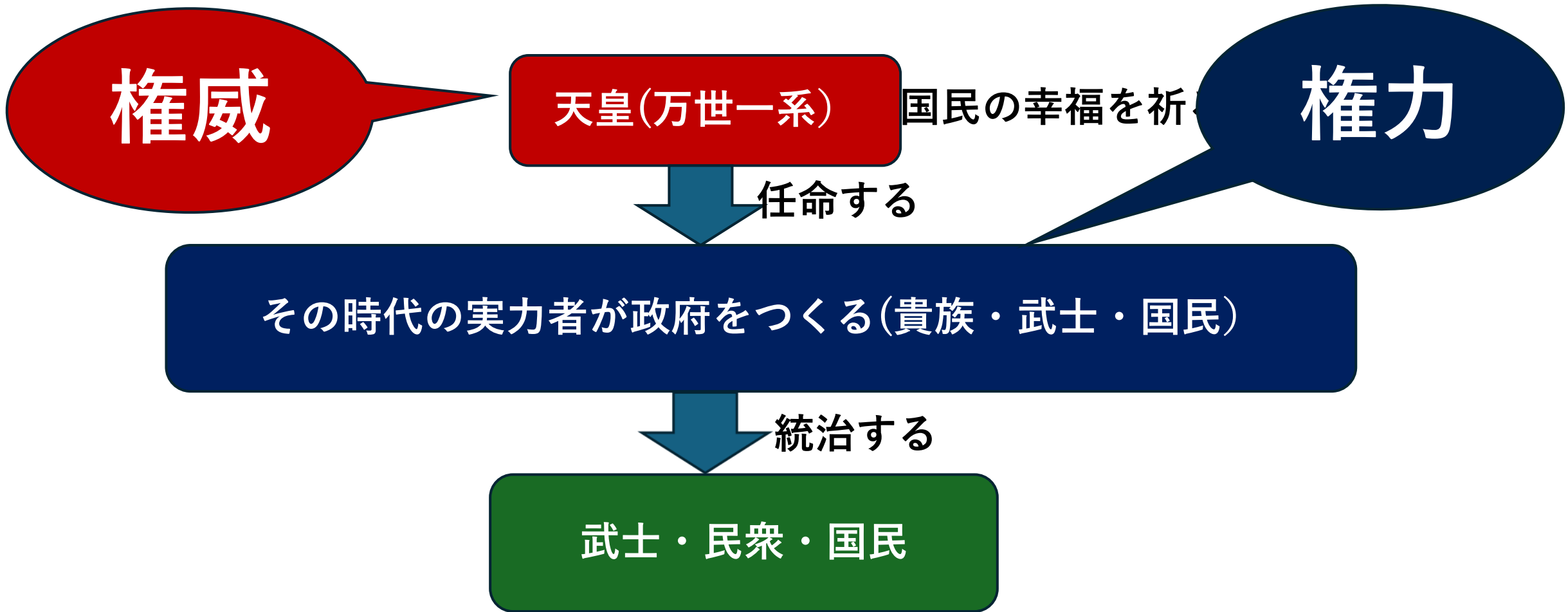
「天皇中心の国」を理解するステップ

(世界標準との違いを理解する)

- | | | |
|-------------------------------------|--------|------------------|
| ①大化の改新の授業
(リーダーの一人として) | A
B | 天皇はあくまで血筋で継承される |
| ②摂関政治の授業
(天皇の立場で) | A
B | 天皇の統治を権威と権力を分離した |
| ③鎌倉幕府の授業
(頼朝の立場で) | A
B | 武士も天皇の国の伝統を守った |

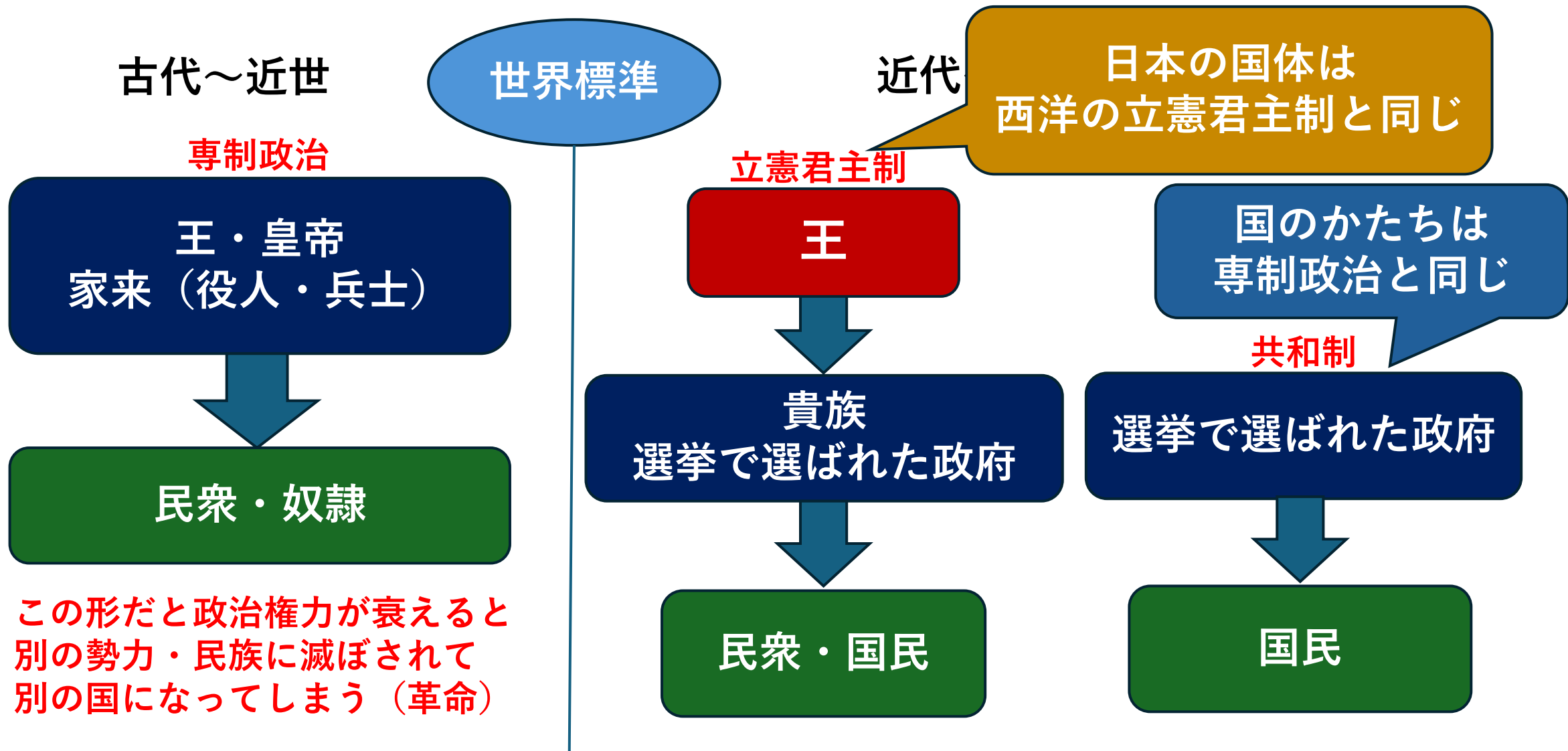
日本が天皇の国ではなくなる可能性もありえたが、天皇も貴族も武士も国民も
みんなで2000年間 日本の伝統を守ってきた！ (革命のない国・日本)

世界で日本だけがやってきた「天皇中心の国のかたち」



権威と権力を分けた国のかたちは平安時代にほぼ完成した
天皇の国はおよそ2000年続いて いま象徴天皇制もこの形を守る

グローバルスタンダードと日本の違いと相似



発見！

日本の国体は西洋よりも500年早く
日本的な「立憲君主制」をやっていた

シン・皇国史観の原点になるかな？

このように
天皇の国の歴史とその世界史的な意味を学んでくると

御前会議の6人のリーダーの思いが
「わかる」ようになり
「日本人の物語」が子供たちに共有されました

「日本が好きになる！歴史全授業」の
二大テーマについてお話ししました

聴いていただき
ありがとうございました

もしよかったら
FacebookでFriendになってください
またブログものぞいてみてください

